

『都市ガス警報器の不正販売』にご用心!!

「奥さん、万一のガスもれ防止のために一台つけければ安心ですよ………」と言葉巧みに不良品を売りつける業者が最近出回っていますので、十分注意して下さい。

なお、警報器の購入を希望される方は、役場企業課(☎八九一三一一)に直接申し込み下さい。当課の係員が取り付けいたします。

▼都市ガス警報器価格
一個 六千九百円



(当品は、日本ガス機器検査協会及び県ガス協会の合格品又は認定品です。)

スパイクタイヤの自粛に協力を

スパイクタイヤによる道路損傷とそれに起因する粉じん公害が生じ、これに伴い道路補修費等が増大しています。又、粉じん問題がさらに悪化した場合、健康への影響が懸念されます。

県では、スパイクタイヤ使用に関する実施要綱(昭和五十八年十一月一日実施)を制定し、

▼四月より十一月までは、スパイクタイヤを使用しない。

▼冬期間(十二月より三月)においても、できるだけスパイクタイヤを使用しない。

▼事業者、ドライバーの皆さん、できるだけスパイクタイヤ

公給領収書の受け取りを!!

忘年会や新年会などで、料理店、飲食店及び旅館、バー等を利用された時は、忘れずに公給領収書を受け取りましょう。

次の場合に交付されます。

▼飲食店(婦女の接待を伴わないもの)一人一回二千五百円を超えたとき、料金の10%。

▼料理店、バー及び飲食店(婦女の接待を伴うもの)料金の10%。

※詳細は小千谷財務事務所(☎八二一六三六一)まで。税係(☎八二一六三六一)まで。

ジュニアスキー アルペン会員募集

- 対象 小学三年、中学三年
- 期間 十二月より翌十一月(毎週日曜、祝日)
- 時間 午前九時、午後四時
- 場所 川口スキー場及び運動公園
- 参加料 年会費一万二千元
- 指導者 スキー協会員
- 受付 役場内・ジュニアスキー事務局(会長・小宮山豊彦)

年末年始

防犯運動

十二月十一日～一月十日

活動の重点

- ▼金融機関の警戒
- ▼少年の非行防止
- ▼交通死亡事故防止
- ▼暴力団犯罪の取締り
- ▼極左暴力団の壊滅



友好都市 狛江市で交流

11月23日、ふるさと友好都市狛江市で開催された「狛江一周わんぱく駅伝」に参加したかわぐち若鮎、青葉チームのチビッコたち。(記事は3ページに)

公営住宅空室情報

1. 県営住宅あけぼの団地 2戸 (24)
2. 町営住宅よしとみ団地 0戸 (16)
3. 町営住宅大島団地 8戸 (30)

() 内は全戸数

ヤに替えて、タイヤチェーン等を使用するようご協力下さい。

人口	6,521人
男	3,193人
女	3,328人
世帯数	1,505戸

昭和62年12月1日現在

おもな内容	ふるさと友好都市交流……………	2～3	スポーツコーナー……………	10～12
	町の大切な動脈、道路整備……………	4～5	ループルの名画入れ替え展示……………	13
	今年も万全の除雪体制で……………	6～7	川口中学校で収穫感謝祭……………	14～15
	地域おこしアレコレ……………	8～9	お知らせコーナー……………	16～18

狛江市へチビッコ親善使節 「狛江1周わんぱく駅伝」で交流を深める!!

11月23日、
狛江第一中学校をスタート



川口の小学生たちが、友好都市となった東京狛江市の駅伝大会に参加して、一位と二位になり、親善交流に活躍しました。

この駅伝大会は、「狛江一周わんぱく駅伝」で十一月二十三日開催され、小学三年から六年まで各学年二人の八人編成、八区間約十三キロのコースで、市内を一周するもの。川口からは、男子の「かわぐち若鮎」と「かわぐち青葉」の二チーム十六人が、オープン参加しました。

レースは、参加四十三チーム（うち女子六チーム）が、午前十時に起点の狛江第一中学校をスタート、先発は三年

▲トップでゴールイン
山吉和浩君（川口）

わんぱく駅伝出場者（走者順）

区間	距離	学年	かわぐち若鮎	かわぐち青葉	市達
1区	950 m	3	小宮山裕久	関真矢	水泉
2区	920	3	佐藤学	桜井俊行	田山
3区	1,550	4	渡部聡一	関圭一	水泉
4区	1,500	4	綱将利	桜井祐一	田山
5区	1,550	5	平沢康紀	山崎学	水泉
6区	1,700	5	岡村崇央	森山徹	田山
7区	2,200	6	関雄一郎	阿部義章	木沢
8区	2,600	6	山吉和浩	大淵竜也	田山

監督 関雄一郎
選手会長 市達



上、優勝インタビューを受ける川口若鮎チーム
下、堂々の入場行進する川口青葉チーム

の小宮山裕久君と関真矢君の豆選手、川口チームは紺と赤のお揃いのユニホームで特に目立ったようでした。

多摩川の土手を快走 川口チームが 大会新記録で優勝と準優勝

スタートから上位につけて、二区からは川口の二チームで最後までトップ争いの快走を続け、テープを切ったのは若

鮎チームの山吉和浩君、十二秒差で青葉チームの大淵竜也君が続き、三位に約一分の差をつけて狛江勢を寄せつけず、共に大会記録を大幅に更新する新記録で完勝し、都合の子の度肝を抜く勝負強さをみせてくれました。

選手たちは、レース前に狛江の子供たちとサッカーをして遊ぶなど交流もあざやかなところを見せ、表彰式では、

応援に駆けつけた選手の家族や東京在住の親せきの人達、狛江市民から大きな拍手をうけ、親善使節の役目を立派に果たしてくれました。

川口の子供たちは、見知らぬ東京の空の下で狛江の子供たちとの出会いを体験し、街中を歩くのは多摩川の土手のびのびと走り、上位入賞に感動し素晴らしい思い出をつくることのできた大会でした。



川口町の木「サクラ」を植樹する石井市長(右)と青柳町長

「ふるさと友好都市」狛江市に 町の木「サクラ」を植樹

市民祭にも参加、友好を深める

「ふるさと友好都市」狛江など幅広い交流を行い、相互の発展を願う。去る七月二十日、狛江市長により、同市役所前広場に町の木「サクラ」が植樹されました。

同植樹は、当町と狛江市の教育、文化、スポーツ、産業

は、先の町農業振興祭に同市長らを招き、運動公園に植樹



風船を片手に、仲よく市民パレードに参加する両市町長 狛江市で

されており、今回は、これにつづいて、同市の市民祭に招かれ、青柳町長、町議会議員など三十人が出席して植樹が行われたものです。

この日は、両市町の交流を祝うように、昨夜来の雨も上がり、青空の下で、両市町長がサクラの木一本を植え、末長く心ふれあう友好都市として育つよう握手。サクラは、関山桜(かんざくら)で、幹回り十八センチ、高さ五メートルで来春にははれんな花を咲かせ、市民を楽しませてくれることでしょう。又、市民祭でにぎやかな中、市民パレードに参加するなど、市民との友好を深めていきました。



当町の物産に人気集まる!



▲当町でとれたモチ米でモチをつく町議員の皆さん

町の大切な動脈 道路整備進む

安全・快適・便利

道路は私達の生活や経済活動に欠かすことのできない大切な動脈です。

日常生活の基盤となる町道の整備や、町内における国県道等幹線道路の改良状況について、ご紹介します。

町は、毎年国県道路事業の予算獲得に積極的に取り組み、その成果により、多くの事業が採択されており、現道の「拡幅」、「線形改良」や道路の「安全施設」、「融雪施設」の「舗装」などの整備が国、県によって進められています。

また、これらの国県道路の整備と平行して、町道改良が着々と進められ、年々道路が整備され、日常生活の利便等の向上がなされてきております。

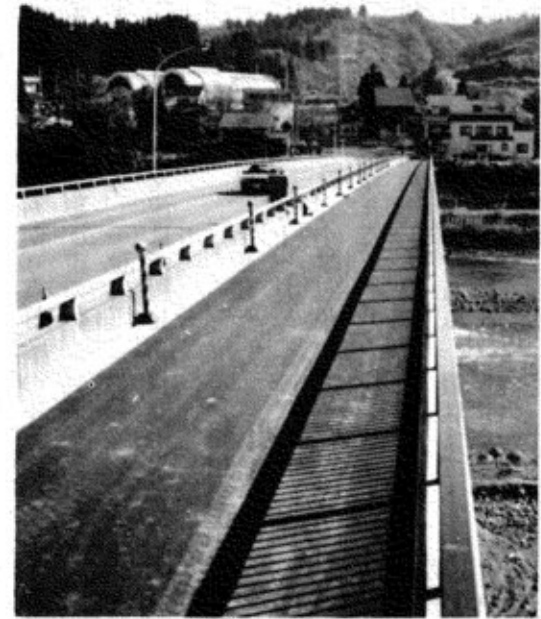
今年度の国、県事業は、新規事業として、県道の①新木沢トンネルの着工②中山電光線・天納川口線の改良③川口塩殿線の交通安全施設の整備が採択され、継続事業の、国

道十七号の改良、和南津橋

の歩道橋や県道小千谷大和川口線の改良などが進められています。町道事業は、幹線道路のほとんどが改良済ですが、今年も更に整備促進のため、国庫補助事業を主体に「改良九路線」、「舗装四路線」を進め、新たに町道二路線を認定しています。

国道 和南津橋「歩道橋」が完成

昨年着工された、国道十七号和南津橋の「歩道橋」が完



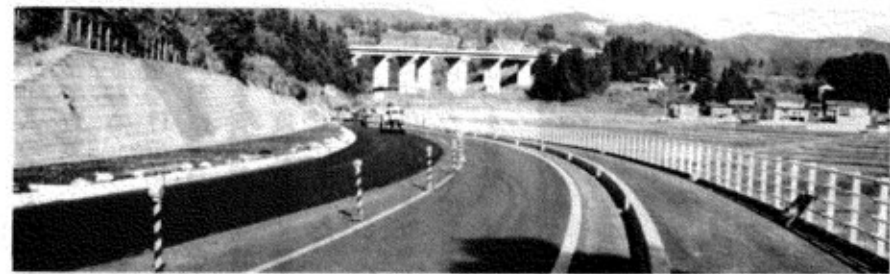
▲まもなく供用開始される国道17号「歩道橋」11/24 撮る

成しました。

和南津橋は、昭和四十二年に架設。その後における、交通量と大型車輛の増加にともない、歩道が未整備のため、特に車輛のすれ違いや冬場の交通条件の悪い時など、歩行者は常に危険にさらされておりました。

歩道橋の架設工事は、二年計画で行われ、昨年度の下部工事について、本年度の上部工事が完了。近く供用が開

始されます。これにより、歩行者の安全確保と車の走行がスムーズとなり、交通事故防止等が図られることになりました。又、同歩道橋は、長さ百九十メートル、幅員は三・五メートルと広く冬期間の歩道除雪は、除雪車で行われます。総工費は一億六千万円。



▲国道17号線局部改良事業が進められています。区間は和南津トンネル口から川口橋交差点までの2.7km。改良後は車道11m歩道3m(両側)となります。完成は昭和64年度(予定) 写真=中山地内の急カーブのところ、交通事故防止が図られる。

町の道路網

当町の道路網は、東西四・一キロ、南北十五キロの地形に、関越高速自動車道(川口インターチェンジ)、国道十七号、百十七号の二路線と、これらと結ばれる、主要地方道小千谷川口大和線をはじめとする県道十二路線と町道の百七十三路線であります。

関東圏を結ぶ国道十七号、関越高速自動車道川口インターチェンジの、本邦一の大規模なサービスエリアにより、高速交通の重要な拠点となっており、又、地域社会の生活基盤としての県道等が町の各地域を走り、交通体系に恵まれております。安全、快適、利便な暮しができるように、又、今日の高度情報化や高齢化社会が進むなど、社会経済の新しい変化に的確に対応し、来たるべき二十一世紀に備へ、活力のある地域づくりと、住民生活の向上を図るために、更に道路整備の充実が不可欠であります。

町の幹線路

舗装率七十九・九%
全国ベース三十三%

幹線町道は、主要集落(戸数五十戸以上、以下同じ)とこれと密接な関係にある主要集落とを連絡する等の幹線一級町道と、この幹線道以上の道路を補完する幹線二級町道集落二十五戸以上相互を連絡道路等)で、それぞれ合わせて二十三路線があります。国県町道の現況は次のとおりとなっております。

国県町道の現況 (昭和62年4月1日現在)

区分	国道	県道	町道
路線数	2	12	173
実延長	8.9 km	49.4 km	120 km
改良済	8.9 km	22.3 km	78.7 km
改良率	100%	45.1%	65.6%
舗装済	8.9 km	29.9 km	56.0 km
舗装率	100%	60.5%	46.7%
幹線路舗装率	100%	60.5%	70.9%



線形改良し舗装が行われ雪に強い道路に生まれ変わる町道中山竹田線(二級) 写真=竹田集落センターを望む



拡張工事が行われている町道松沢線(二級)

峠、木沢地区の道路環境大幅に改善

冬期道路確保が容易に、

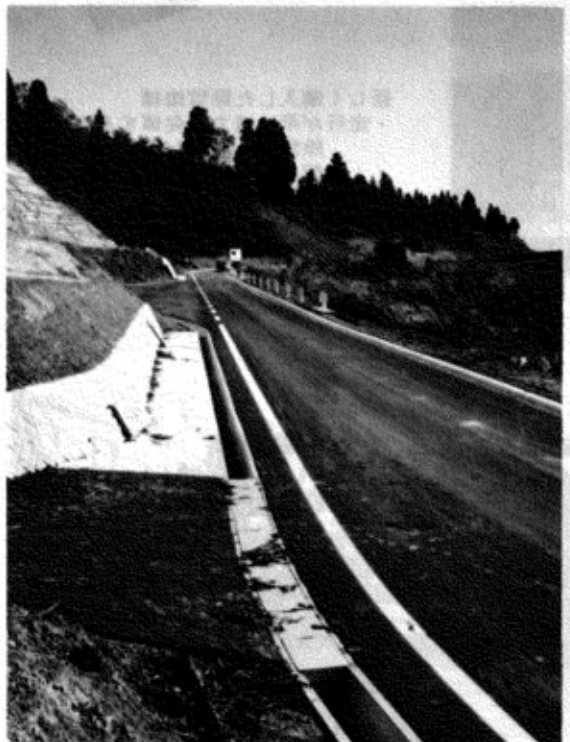
主要地方道の小千谷川口大和線(峠・川口十七号交点)の改良が行われ、峠、木沢地区の道路環境が大幅に改善されています。

同改良事業は、昭和四十八年度に着手、計画改良延長六千メートル、同幅員は五・五メートルで、昨年度末まで千三百二十メートルが改良されています。これにより、同地区の冬期間の道路確保がより改善され、利便の向上が図られています。



県道小千谷川口大和線(峠地内)

県道改良進む

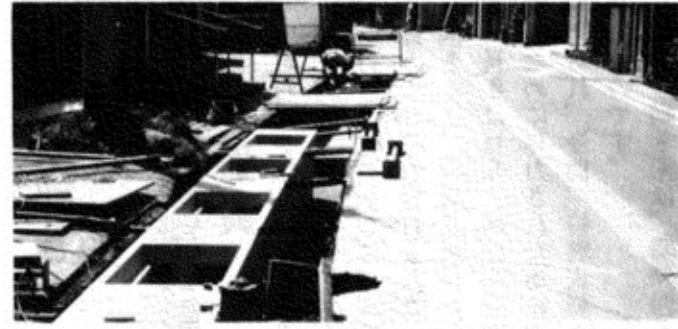


県道荒谷電光線(木沢地内)



矢印部分が木沢からの入口 (写真=木沢部落)

今年中に新木沢トンネル「仮称」も着工

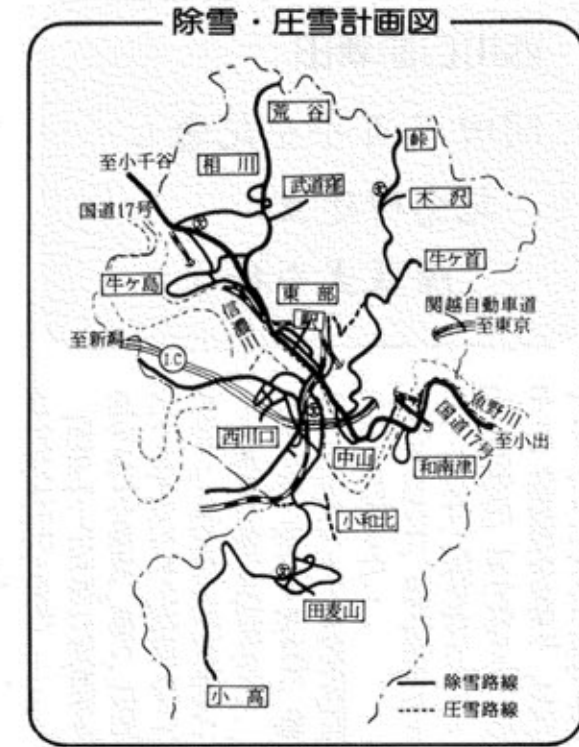


▲市街地における流雪溝の整備も着々と進められています(東部)

町民一人一人が 除雪に協力を

除雪を円滑に進め、生活の足を確保するためには、機械力やそれにならずに人たちの力ばかりでなく、私達一人一人が、お互いの立場になって協力し合うことが必要で、これが一番大きな力になります。

次のことについて、協力をお願いします。



- 除雪路線内に駐車しないこと。
- 除雪路線両側の民地へ投雪及び雪の押し出しについて、了承願います。
- 屋根の雪を道路内に落とした場合は、必ず後始末をすること。(必ず一車線を確保して下さい)
- 危険箇所、越冬池、道路から見えにくい下屋のある所等には、標識(赤旗等)を設置して下さい。
- 除雪作業中は除雪車に近寄らないこと。
- 除雪路線内の支障物件を除去して下さい。

除雪のお問い合わせ先
 国道—建設省小出維持出張所(02579)2-0839
 県道—川口除雪ステーション 89-2052
 小千谷土木事務所 82-6361
 町道—役場土木課 89-3111(内線23)
 除雪サブセンター 89-3711



又、今年も次の町道が駐車禁止となります。

- ① 寺裏線(東部)
- ② 川口線(東部)
- ③ 前島北ノ浦線(東部)
- ④ 前島線(東部)
- ⑤ 西川口線(西川口)
- ⑥ 岩出原荒屋線(西川口)
- ⑦ 西川口内ヶ巻線(西川口)

期間は、十二月一日から来年の三月三十一日まで。

町の除雪隊は、十八人で編成され、毎朝三時から作業を始め、まず幹線路線の確保に努め、通勤、通学に間に合うよう午前七時三十分ごろまでに除雪を完了します。

冬将軍に備え 今年も万全の除雪体制で

雪国に雪が降るのは当たり前。でも雪は多くない方がよいのは皆んな同じ。三年連続豪雪(五十九年〜六十年)につづいて、昨年は少雪でしたが、さて今冬は？

新潟気象台が十一月二十日に発表した北陸地方三カ月予報(十二月〜二月)の概要によると、十二月は、寒さは長続きしないが、後半には一時冬型の気圧配置が強まる時期がある。

一月の前半は比較的穏やかで、後半は次第に寒さが厳しく大雪のおそれがある。二月は、冬型の年庄配置となるが多く、寒さが厳しく大雪のおそれがある……と予報しています。

大雪、小雪に関係なく、生活の足を確保し、雪害の防止に、この冬も、今月十六日から除雪隊を編成して、万全の体制を整えています。

除雪機械を増強し 道路確保!

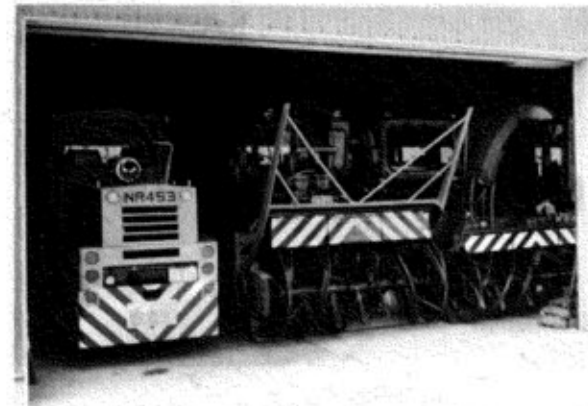
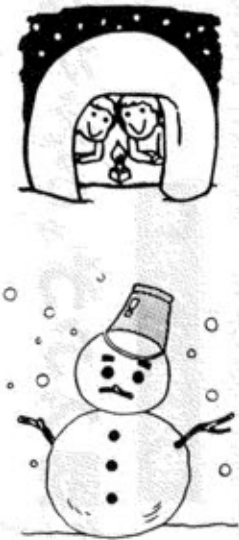
国・県が行う国道、県道除雪に合わせ、町道除雪を効率的円滑に進めるため、常時一車線を確保する「常時除雪路線」に、余力の範囲で一定の期間一定の積雪まで除雪する路線、市街地の運搬排雪路線、降雪期を過ぎた春先に除雪する路線、歩道除雪の「条件付除雪路線」と「圧雪路線」に分けて行っており、今年の町道除雪路線は、百十五路線、五十八キロとなっています。又、国道を含めた除雪延長は、九十五キロとなります。更に今年、ロータリー除雪車の更新、除雪ドーザーを新規に購入して、より速やかな除雪に努力しています。

除雪路線延長
国道を含め九十五km

川口の雪況(過去15年)

県蚕業試験場調査

年	初雪月日	根雪初日	根雪終日	終雪月日	根雪期間	最深積雪	同 起 日
47-48	11.21	12.13	4.7	3.27	116	102	1.28
48-49	11.18	12.4	5.5	4.2	153	331	2.14
49-50	11.13	12.5	4.23	4.3	140	268	3.2
50-51	11.24	12.17	4.17	4.7	123	250	1.23
51-52	11.14	12.27	4.22	3.27	117	318	2.23
52-53	11.23	12.19	4.29	4.7	132	278	2.23
53-54	12.5	12.20	3.27	4.18	98	132	1.21
54-55	11.13	1.8	4.27	4.2	111	335	2.17
55-56	11.13	12.14	5.10	3.27	148	431	2.9
56-57	11.8	12.10	4.13	4.10	125	194	2.11
57-58	11.24	12.31	4.19	3.18	110	242	2.14
58-59	11.13	12.15	5.9	4.8	147	385	3.8
59-60	10.30	12.15	4.22	3.31	129	292	12.31
60-61	11.15	12.9	5.8	4.11	151	383	2.11
61-62	11.11	12.27	4.15	4.15	110	208	3.3
平均	11.16	12.15	4.21	4.4	127	266	2.8



▲ズラリと並んだ除雪車、いつでも出動OK (除雪サブセンター)

— 除雪機械保有台数 —

- 除雪ドーザー 4台
- ロータリー除雪車 5台
- 雪上車 1台
- 歩道除雪車 1台 (建設省貸与)



新しく購入した除雪機械
 ・走行が早く威力を発揮する除雪ドーザー(右)
 ・1時間に2,100t、投雪距離は最高35mの能力があるロータリー除雪車(左)

綱直太郎さん

(川口)

自治功労特別表彰 を受賞

県町村議会議長会は、去る六月十六日、自治功労特別表彰を行い、当町からは、綱直太郎さんが受賞されました。綱直さんは、町議会議員として、長年に亘り、地方自治発展のために尽力された功績が認められ、今回、特別表彰されたものです。

なお、綱直さんは、昭和四十二年初当選以来、連続六期当選。この間、産業土木、議運、社会文教の各委員長と議長を歴任。現在、社会文教委員長として活躍されております。



▲綱直太郎さん (川口)

西川口原新田 開田三百年を記念し 記念碑建立 除幕式を行う

町土地改良区は十二月一日、西川口原新田地区の開田、三百周年を記念し建立された記念碑を祝い、除幕式を行いました。

原新田農地開発の歴史は、今から三百年昔の元禄年間(西歴一六〇〇年代後半)にはじまる。毎年信濃川、魚野川の氾濫により安定耕作ができず、このため丘陵高原を開拓すると共に「江筋」用水路を向山地区内の相川川より、幅四尺(一、二尺)、長さ千七百十一間(三二一〇尺)を構築し、田畑二十六町九反を開墾し、「中林新田」と命名。以来、幾多の変遷を経て、開発と改



▲西川口原新田に建立された立派な記念碑

良が行なわれてきた。昭和二十六年川口原新田土地改良区を結成、更に、昭和四十九年川口町土地改良区へ統合し、農業構造改善事業による基盤整備(百四町歩)や、用排水路の改良が施され、農業の生産性向上と経営近代化が図られてきた。除幕式には、歴代理事長をはじめ役員、関係者など約八十名が参列。幕が取り去られると、青柳町長自筆の「萬代不易」の彫刻文字が現われ、参列者は、先人達の偉大なる功績を讃え、共に、地域の繁栄を願い、三百周年の歴史を感じとっていた。

よみがえる「わらべ歌」

泉水小で発表会

一かき二かき、三かき四かき五かき、橋をかけたらんかん腰をかけたらんかんをながむれば十七、八のねえさんが……



▲発表会で手まりをつく児童たち(泉水小で)

楽しそうな歌声が、泉水小学校の体育館から流れてきました。

泉水小学校では、学習の中に地域の特色を生かそうとわらべ歌を取り上げ、八月から準備を進めていましたが、先の文化祭に合わせてこれを発表しました。金子ヒナ先生が中心となつて、校区内のおばあさんたち二十数人から地域に伝わるわらべ歌を何回も歌ってもらい、補作をして子供たちに教えたとのことです。今回発表したのは、「一かき二かき」と「ひとつがらがらび」の二曲で、おばあさんたちが子供の頃に手あそびやまりつき、お手玉あそびに歌ったもので、最近では知っていてもなく忘れられています。が、泉水小学校の子供たちによってよみがえり、また次の世代に引き継がれて行くこととしよう。発表会では、全校児童がステージで歌い、歌に合わせてまりをついたりお手玉をして楽しい雰囲気の中で大きな拍手を受けていました。

地域おこし川口の陶芸

木沢焼が生れる

地元粘土を材料にゆくゆくは木沢名産に！十一月一日から三日間、福祉センターで行われた文化祭に、木沢焼が初めて展示されました。

展示された作品はグイ飲みやトックリ、茶わん、皿、小鉢、湯ざましなど、木沢粘土を材料に陶芸教室でつくられたものです。

この木沢の陶芸教室は、木



▲小野教頭先生(木沢小)の指導を受け「ロクロ」に挑戦するお父さん、お母さんたち。 同校の図工室で



▲文化祭に展示されたグイ飲み、トックリ、茶わん等の見事なできばえにびっくり！ 福祉センター展示会場で

地元粘土を材料にゆくゆくは木沢名産に！十一月一日から三日間、福祉センターで行われた文化祭に、木沢焼が初めて展示されました。毎週一回の陶芸教室の行われている小学校の図工室では、PTAのお母さん方からおじいちゃん、おばあちゃんまで熱心に土をこねたり、ロクロを回したりしています。

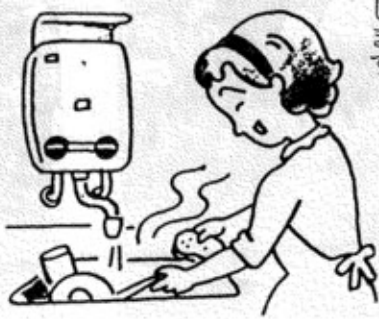
これを主催している星野幸一地区館長さんは、「木沢焼を何とか木沢名産にしたい」と張切っています。町では、地区の方々の熱意に對し、陶芸窯などおよそ百万円を購入し、十月三十一日の初窯で本焼をしました。町の文化祭に出品した作品もこの窯で焼いたもので、観覧者にも大好評でした。いよいよ本格的に動き出した陶芸教室には、希望者が殺到しており、嬉しい悲鳴をあげています。

ガス料金引下げ(暫定)の 期間を延長します

来年の三月分まで

ガス料金引き下げの期間を来年の三月分まで延長します。町のガス料金は、現在暫定的に、今年の二月分から十二月分までの十一月分間、一㎡当り四円三十七銭(平均家庭で月額約二百五十円)引き下げを行ってきております。

これは、石油資源開発㈱の円高差益還元により、町が購入している原ガスの価格が引き下げられたことによるものです。今回、引き続き同原ガス価格が引き下げられることにより、東京通商産業局の認可を受けて、来年の一月分から三月分までの三ヶ月間、引き下げを延長するものです。町は、昭和五十七年二月の料金改定以来、ガス事業の経営の効率化や業務改善を積極的に、ガス料金の長期安定と需要家サービスの向上に取り組んできました。



一カ月当り平均家庭のガス使用料金は次のとおりとなります。

◇ 1ヵ月54㎡使用した場合
(昭和61年度家庭用平均使用量)

(従来の料金)	(引下げ額)	(引下げ後の料金)
6,118円	(54㎡×4円37銭) 236円	= 5,882円

1㎡につき
4円37銭



田麦山地区の、スポーツ振興会主催による「田麦山駅伝」が十一月八日(日)、同地区及び町内外から五十八チーム、二百五十七名の選手が参加して盛大に開催されました。

同駅伝は、去る五十三年の東京・川口ノンストップ駅伝を記念して、毎年この時期に行われており、今回で第七回目を迎えた。又、同地区民の体力向上と走る仲間づくり、親睦を深めようというもので、年々参加チームも多くなり、(うれしい悲鳴と)同スポーツ振興会)今年も、町外からも多くのチームが参加し、過去最高の五十八チームを記録し

東京・川口ノンストップ駅伝を記念して

第7回 田麦山駅伝盛大に開催される!!

過去最高の五十八チームが参加

—田麦山地区スポーツ振興会—

駅伝熱は益々高まりを見せた。この日は、朝から強い雨と肌寒い天候の下、コンディションが心配されたが、スタートの頃には、青空が広がり、絶好の駅伝日和となった。

同駅伝は、田麦山路を一般十六キロ、小学生、女子、壮年の八・五キロの五区間を、十六キロに十六チーム、八・五キロに三十一チームにより白熱したデッドヒートが展開された。

町外からは、隣りの堀之内町から原小、宇賀地小や、六花園チームなど十二チームが参加(オープン)し、大会を盛り上げ、地元小学生との親睦を深めた。又、体の不自由な六花園の選手たちが、力強く走る姿に、大勢つめかけた沿道の観衆から大きな声援を受けていた。

また、初参加の小千谷地域川口出張所「火の用心」チームをはじめ「記念に走ろう会」「思い出づくり」や「ドラゴンゲーム」「チャレンジ」「ドナルド」などの思いのこもったチームの名をつけ深まる秋の田麦山路をさわやかに走り抜けていった。



選手宣誓! 雨天のため開会式は体育館で(田麦山小)



デッドヒート



▲小学生の部



▲一般の部

「自分たちの村を走ろう」をきっかけに

田麦山駅伝誕生

私達の田麦山スポーツ振興会では、昭和五十三年十一月に、町の全面的なバックアップを頂き、東京・川口間「ノンストップ駅伝」を行い大成功を収めました。

ランナーは、中学生から五十歳代の男女有志十七名、ゴールの川口中学校を目指し、昼夜ぶつ通して、力走に力走を続け、お互いに励ましあいながら、ゴールインし、青柳町長をはじめ、関係者に迎えられるた、あの時の感激は、生涯忘れられることはできません。

同時に、この駅伝を成功させた、あのチャレンジ精神と団結と協力のすばらしさを知ることができました。

スポーツの町宣言

以来、毎年開かれる小千谷・川口駅伝に参加し、連覇という偉業を成し遂げました。このようなかで、若い人から自分達の村を走ろう

という気運が盛り上がり、五十六年に、田麦山駅伝が誕生しました。

第一回大会では、現在の五分の一という少ない参加でありましたが、年々盛り上がり町当局、町陸協、そして地区の協力、応援を頂き、今年で第七回大会を迎えることができました。厚くお礼申し上げます。

来年も、田麦山駅伝に、仲間同志で、職場、親子チームで、多数の参加をお待ちしています。

なお、六月に聞かれる第三回田麦山ロードレース(三キロ、八キロ、十五キロ)にもふるって参加して下さい。

田麦山スポーツ振興会
会長 森山正夫記

成績結果

- 一般の部 十六 km
- 中学生が奮闘
- 一位 川口中陸上A
- 二位 東部
- 三位 川口中野球部
- 一位 川口中陸上A
- 二位 川口中陸上B
- 三位 川口庭球A

区間記録

- 第一区(四キロ) 笹崎進吾 十四分十八秒(川中陸上A)
- 第二区(三・六キロ) 目黒達也 十二分五十六秒(東部)
- 第三区(一・七キロ) 星野泰之 五分四十九秒(東部)
- 第四区(三キロ) 小西俊之 十分四十五秒(川中陸上A)
- 第五区(三・七キロ) 桜井正俊 十二分四十七秒(前原)

小学生の部 八・五 km

- 一位 田麦山小A(男子) 三十二分三十一秒
- 二位 東部少年野球A 三十三分二秒
- 三位 記念に走ろう会(泉水) 三十三分二秒

区間記録

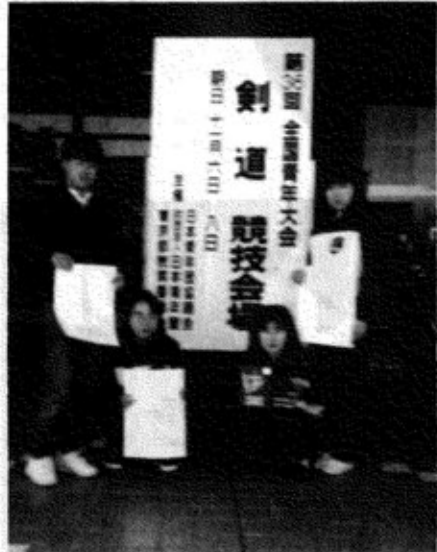
- 大湖 竜也(田麦山小A) 五分五十七秒(周回コース)
- 女子・荘年の部 八・五 km
- 一位 川口中陸上A 三十四分二十四秒
- 二位 川口中陸上B 三十六分三十五秒
- 三位 川口庭球A 三十八分九秒

全国青年大会が東京で開催され、剣道女子団体戦に出場した新潟県チームが三位に入賞し、三人で編成したこの新潟県チームに、川口町から二人選手が参加して活躍しました。

全国青年大会団体戦

女子剣道で上位入賞

北町での県大会を勝ち抜いた北魚沼郡選手で、美幸さんが先鋒、裕子さんは中堅、入広瀬村の目黒小百合さんが大将の三人編成でした。



▲一般の部



▲ブーダン/ベニスの大運河



▲ミレー/落穂拾い



▲セザンヌ/玉ねぎのある静物



▲セザンヌ/首吊りの家



▲ルノワール/都会風の踊り

また、同展示は、町制施行三十周年を記念して、「ルノワール秘蔵の名画」にひたろうと企画されたもので、作品の数は、毎回十数点、計四回の四十点です。次回第四回目(最終回)は、ハルス「ジプシーの女」、ミレー「晩鐘」、ゴッホ「ガシエ医師の肖像」、シャルダン「食前の祈り」などが展示されます。お楽しみに。

「サン・ローラ川口にルーブルの名画展」と昨秋以来、第一回、第二回目的の作品を展示してきましたが、現在第三回目的の毎日学校美術館の作品が、サン・ローラ川口で展示されています。今回は、ミレー「落穂拾い」、ルノワール「田舎風の踊り」、セザンヌ「マルセイユ湾の眺望」などの作品十点を展示して、皆さんのお越しをお待ちしています。是非ご鑑賞ください。

サン・ローラ川口 「ルノワールの名画」入替えて展示 第三回目的の作品 美しきものとの出会い!

サン・ローラ川口

スポーツの町宣言

“ラウンド”
“ラウンド”
“ラウンド”

ラウンドダンスで 楽しんでいきます!!

ダンス愛好会



▲いつまでも若々しく……。ラウンドダンスの仲間たち 末広荘で

私達のサークルは、昨年の十一月に誕生したばかりの若いサークルで、週一回のラウンドダンスを楽しんでいます。ラウンドダンスは、社交ダンスとフォークダンス(小学校の項マイム・マイムやオクラホマ・ミキサーを踊ったことがあると思います。)の両方の長所をとり入れて作られたダンスです。大きな輪を作って、皆んなで一斉に社交ダンスのようなステップを踊ると考えてみて下さい。「ワルツ」「ルンバ」「タンゴ」その他色々の種目が、ポピュラー名曲に振り付けられています。例えば映画音楽の白い恋人達にはワルツが、

ピンクパンサーのテーマにはツイステップといった具合です。四月から講習会を続けてきましたが、十一月で終了し、この二十四日が卒業式です。講習会期間中、ハワイアン調の曲では、「もっと色っぽく腰を動かして……」「いやだーはずかしい」とか、又、「ターンの練習のときは「目がまわる」とか色々ありました。全員が全くの素人でしたが、この頃は、ずいぶんと上達し、さまになってきました。



小人数ですが楽しみながら踊っています。春から、また初心者を対象に講習会を開く計画ですので、興味のある方は是非どうぞ。

わがスポーツクラブ 紹介

ダンス愛好会

- Q クラブ、サークルの設立年月日は?
A 昭和61年11月です。
- Q 設立の動機は?
A 楽しみながら体を動かし、ダンスを覚えよう。
- Q 会員数は? またそのメンバー構成は?
A 少人数の8人でスタートしました。
- Q 練習日、時間は? 練習会場は?
A 毎週金曜日夜6時から9時まで、末広荘で行っています。
- Q いま、クラブ、サークルの活動で目標にしていることは?
A 中級クラスまで踊れるようになりたい。
- Q クラブ、サークルのメンバーの技術の状況は?
A 初級クラスの仕上げに入っています。
- Q 最後にクラブ、サークルのPRを!
A どなたでも踊れます。みなさんも来春にはぜひ。



円舞、ワルツなど一組づつが回りながら踊るもので、社交ダンス、フォークダンスの両方をとり入れたユニークなダンスです。

収穫の喜びを味わおう!

川口中学校で収穫感謝祭 餅をつき、藁で縄ないも

川口中学校では、十一月七日、収穫感謝祭を行いました。同感謝祭は、稲作の体験を通して、勤労の尊さと感謝の念を養うこと等を目的に、毎年行われているもので、この日、生徒全員に先生方、PTAの三百二十名余が参加して餅をつき、つきたての餅を食べ、収穫の喜びを皆んなで味わいました。

三年生を中心に、田打ち、田植えに稲刈り、はぎかけと汗の結晶が実を結び、この収穫祭を迎えたものです。餅つきは、同体育館で行われ、ベッタコ、ベッタコと、最近めつきりと少なくなった臼餅の、あの懐かしい杵の音を響かせ、生徒たちは、杵を力一杯振り上げ、粘る餅にとまどいながらも、元気に餅をついていました。又、生徒全員により、収穫した藁で縄ないが行われ、まず校長先生が、縄ないのコツ



「オイシイ」！
▲思わずVサインも



▲杵を持ち上げる手に力が入る (11月7日川口中学校で)



▲縄ないの伝授/をする上村校長先生



▲縄ないも楽しく、でもむずかしかった。



目標5mを達成/
広げて見せる生徒

勤労田の作業は

有意義だった

丸山勝久君 三A

毎年三年生の男子は田打ちをする事になっていています。まず、学校からクワを持って田んぼへ向かいました。さっそく素足になり田打ちを始めました。でも、ぼくは田打ちをしたことがなかったので、校長先生がやっているのを見ながら少しづつ始めました。しかし、田んぼが硬かったせいかとてもやりずらく最初は大変でした。また、クワが隣の人や自分の足などに当たっては大変なので、気を付けてやりました。

しばらく経つととてもいやになってきましたが、みんなもがんばっているのだからと思いつきました。そして、どこにかうまくなった頃、田打ちは無事終わりました。初めてやった田打ちでしたが、自分が思っていた以上に難かしくて、力のある仕事だということが解りました。また、現在の米作りは、トラクターなどで田打ちをし

すが、機械による田打ちを行っていただけの昔の人は非常に大変であっただろうなと、自分で田打ちをやってみて感じました。学校田の勤労作業は、とても有意義でした。感想文「田打ちをしてみたら皆んな

一生懸命頑張った

喜多村リカさん 三B

私たちは、五月のよく晴れた日に田植えを行いました。初めは、少タイヤがっている人もいたし、初めての人も何人かいるようでした。私たちが、PTA会長さんから苗の植え方や説明をしてもらい、さっそく田んぼの中に入りしました。田んぼの中の泥水は冷たくて、ちよつとぬるぬるして、なかなか足が抜けませんでした。みんな気持ち悪そうな顔をしていました。そして、皆んなが片手いっぱい苗を持って泥水の中に植えました。しかし中には、しっかりと植えてないのがあって、あちこち倒れたり、植えるマスを間違えて植えたり、皆んな四苦八苦していたよう

稲刈りは

むずかしかった

星野泰博君 三A

田植えが終わって四カ月過ぎ、ぼくたちの植えた稲を刈る日がやってきました。果たして良く実っているのかどうか少し心配でしたが、清水先生が、今年の稲は良く育ったと言ったのを聞いてホッ

としました。見事に育った稲。今年は昨年より多いかな、多ければ餅も多く食べられるかなあ...と、少し食い意地のほったことを考えました。

しかし、その前には、苦しい稲刈りがまわっていた。二人一組で稲を縛る人と刈る人を分けて場所を決め、稲刈りが始まった。やる前は自信满满だったけど、いざ刈ってみると稲の長さが長すぎたり、刈った稲を一つの束にまとめる量が多すぎたりして、そう簡単にはいかなかった。

しかし中には、上手な人もいて慣れた手つきでサッサと刈っていく。中でも校長先生は、おなじみのスタイルでセッセッセと刈っていた。さすがだなと思った。

ぼくは、初めは刈っていたけど、調子にのっているうちに稲でなく自分の指を切ってしまった。血がなかなか止まらなかつたので、しょうがなく止血剤草をはって稲を縛る方にまわった。最後に、山積みされていた稲の山を一人三〜四わずつ持って帰った。

するともう、はぎかけがしてあり、稲刈りが終わったという実感が湧いてきた。時間内に終わったし、けっこう楽しく出来たので良かったと思う。

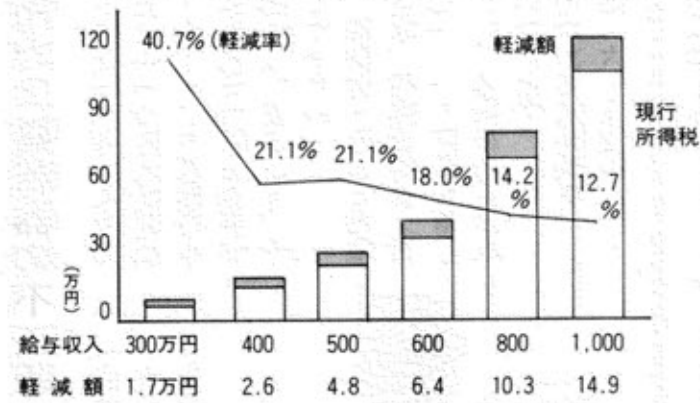
感想文「稲刈り」から



▶「稲刈り」今年も豊作でした。

所得税の負担軽減状況

～夫婦と子供2人のサラリーマン世帯の場合～



さて法の改正によって私たちの所得税はどのくらい負担が軽くなるのか――夫婦と子供二人のサラリーマン世帯を例に、給与収入別に見ると上の図のようになります。

なお、所得税の減税は六十二年分の所得から実施され、ほとんどのサラリーマンの場合、十月～十二月分は

源泉徴収で、一月～九月分は年末調整で行われます。

配偶者特別控除の新設

この制度は、配偶者控除の対象とならないパート収入が九十万円をこえるような主婦にも一定の範囲内で税の軽減が行われるよう、配偶者控除とは別に所得控除をするものです。

① 納税者の合計所得金額が、八百万円以下である場合に適用されます。

② 他の納税者の扶養親族とされる者および、事業専従者は除かれます。

③ 配偶者の所得金額や、所得の種類によって控除額が変わります。

なお、サラリーマンの場合には、会社の年末調整で受け、事業主の場合は、確定申告で受けることになりますので、事前に配偶者の収入や所得金額を調べておく必要があります。

くわしくは、小千谷税務署 (TEL: 81-110) か町役場財政課 (TEL: 81-311) へおたずねください。

ご存じですか

所得税法等が一部変わりました

所得税法等の一部を改正する法律が国会で可決・成立しました。そのあらましは次のとおりです。

所得税
サラリーマンを中心に負担を軽減

中堅サラリーマンを中心に、

税負担を大幅に軽減するため、最低税率一〇・五%の適用範囲が、これまでの課税所得「五十万円まで」の三倍、「百五十万円まで」に拡大されました。課税所得で百五十万円といううと、夫婦と子供二人のサラリーマンの場合、年収約四百七十七万円になります。

飲酒運転をやめよう たった一杯の酒が重大事故に!!

運転者にとってアルコールは、たとえ一杯でも禁物です。昔から「大酒飲みは一家を食いつぶす」といわれてきました。今や「たった一杯の酒飲み運転が一家を狂わす」時代となっております。

これからは、亡年会、新年会と飲酒の機会が多くなりま

まず、運転をするときは、酒を飲まない、飲んだら運転しない。このことは、自分自身(ドライバー)が守り、守らなければならない最も大切なモラルでありマナーです。

しかも、法律を犯すばかりでなく、死亡事故につながり、家族が悲惨な状態に陥ることになります。また、運転する人には酒を飲ませない、回りの人達も心を配り、注意して、一人たりとも飲酒運転をださないよう、家庭・職場・地域ぐるみで、飲酒運転絶滅に協力して下さい。



その一杯 ことわる勇気が 事故を断つ

飲酒による死者が大幅に増加

今年、県内では飲酒運転による交通事故で、既に二十八人(十一月十九日現在)が死亡しており、昨年一年間の十九人を大きく上回っています。

「少しぐらいの酒では事故にならない」「少し酒を飲んだ方がむしろ調子がよい」などという、酒の影響を考慮する人がいますが、お酒を飲むと血液を通して、脳に吸収されたアルコールは、考えたりするコントロール機能や生理の働きを弱め、車の運転に最も必要な「判断力」と「自制心」を低下させます。アルコールの影響を正しく理解して、飲酒運転の追放に努めましょう。

県下の交通事故死者 二百人突破(四年ぶり) 最悪の状態

今年、県下の交通事故による死者は、二百人を突破しました。

これは、昭和五十八年以来四年ぶりで、発件数、傷者数とも増え、死者数が大幅に増加しており、県下の交通事故

死者200人の状況 (11月19日現在)

主な事故種別

- 子ども事故……15人 (全体の7.5%、前年比10人 200%増)
 - ・未就学児 7人・小学生 7人・中学生 1人
- 歩行者事故……53人 (全体の26.5%、前年比 4人 8.2%増)
- 若者事故……61人 (全体の30.5%、前年比 3人 5.2%増)
 - ・高校生12人
- 県外者関連事故……50人 (全体の25.0%、前年比24人 92.3%増)
- 女性ドライバー事故……17人 (全体の 8.5%、前年比 1人 6.3%増)
- 交通七悪事故……107人(全体の53.5%、前年比35人 48.6%増)
 - ・飲酒28人・速度26人・一停17人・信号10人
- 交差点事故……55人 (全体の27.5%、前年比16人 41.0%増)

故は最悪の状況にあります。死亡事故の状況をみると(別表参照)飲酒、速度違反、一時不停止、信号無視等の交通七悪事故が最も高く、次に高校生、交差点事故と続いています。

又、子ども事故は、対前年比では最も増加しており、各家庭での交通安全に対するしつけが大きく望まれています。



ゆきつばき号来町「交通安全教室」(11/11) 交通巡視員から指導をうける町内の園児たち、田麦山保育所で



高齢者安全教室(11/11) 川口駐在所の平井所長さんを講師に招き熱心に耳を傾ける和南津の老人クラブの皆さん

ヤング紹介 51



川口5

目黒美佳さん

明朗かっぱつな現代娘

- Q 趣味は何んでしょうか。
A 洋楽を鑑賞すること。
- Q 休日は何をしていますか。
A 気のむくままに動いている。
- Q 理想の異性像は？
A 頭が良く何でも知っている人(教養のある人)
- Q 若さの証明とは何んですか。
A 周りを気にせずガムチャラに行動すること。
- Q 今の仕事の満足度は？
A 70%くらい。
- Q 好きなことばは？
A 和気満堂
- Q 町への要望は？
A 大型ショッピング店があったらいいなあ。
- Q いちばん嫌いなのは？
A ジャガイモ
- Q 将来の夢を一言どうぞ。
A 8千万円の宝くじを当てたい。
- Q 川口町が都会よりよいと思うところは何んですか？
A 排気ガスが少なく夜星が見えるところ。
- Q 最後に自己PRを！
Q 未熟者ゆえ困った時にはよろしくお願いします。